

2018年12月 浜松聖書集会のご案内

(時間：午前10時～正午)

- 12月 2日(日) 集会 (アクト研修交流センター 403号室)
司会：大屋 智代 感話：武井 めぐみ
聖書講話：ヨハネの手紙 I 1章1～10節、
「いのちの言葉と光なる神」 水戸 潔
- 12月 9日(日) 集会 (アクト研修交流センター 61号室)
司会：生江 扶左子 感話：溝口 春江
聖書講話：ヨハネの手紙 I 2章1～29節
「弁護者キリストと新しい掟」 水戸 潔
- 12月 23日(日) クリスマス集会 (アクト研修交流センター 403号室
10時～14時前まで)
司会：水戸 潔
聖書講話：マタイ福音書 21章33～42節 イザヤ書 5章1～7節 詩編 118編 22～25節
「捨てられた石が隅の親石となる—主の御業 私たちの目には驚くべきこと—」 武井 陽一
・感話会(一人3分程度)
・愛餐会～当日、簡単な食事を用意しますので、出席者は武井めぐみさんまで申込み下さい。
食事代 500円(予定)

……通 信……

- 1) 2017年12月30日(日)、集会は休みとします。1月は6日(日)より始めます。
- 2) 2019年の聖書集会当番について
上記の件につき別紙の通り案を作成しました。ご覧になって自分の担当で都合が悪くありましたら、武井まで お知らせ下さい。先立ち、お互いに話し合っただけで済ませたいです。
- 3) 静岡クリスマス講演会
講演・講師：「クリスマスの原点」小田弘平、「主よ、憐れんでください」西澤正文
日時：12月9日(日) 14時～16時半 会場：清水テルサ(清水駅南口) 6階 研修室
- 4) 『無垢の心をこがれ求める—伊藤邦幸・聡美記念文集』の第2版を発刊しました。

第1版は、2014年6月15日、那覇聖書研究会主催の「内村鑑三記念キリスト教講演会」の日に発刊しました。その折に語らせて頂いた「OKINAWA for The World」の講演内容及び、講演会後に、沖縄の友に案内して頂いた辺野古・高江などの報告記(武井めぐみ)を、第2版に加え、第1版での誤記を多く訂正しました。1冊1500円でお頒けます。 [武井]

信者の生涯の結実

内村 鑑三

信者の生涯は、始めは悪くして終わりは善くある。終わりに近づくほど、ますます善くある。生命(いのち)の夕暮になればなるほど、彼は何ものか、彼の心の奥深き所に結実しつつあるを感じる。人あり、彼に、その生涯の中に最も愉快なりし時はいつか?と聞くならば、彼は常に今なりと答うるのである。そうして彼の最後(ラスト)が最善(ベスト)である。あたかも年末のクリスマスが、彼にとり最も喜ばしき期(とき)であるように、彼の生涯の終わりが、彼にとり最も感謝多き時である。そうして彼が特別に感謝してやまざる事は、彼の生涯の計画がことごとく失敗であって、彼の計画に反せし神の御計画が彼の身において成ったことである。「このゆえに、われ、弱きと凌辱(はずかしめ)と空乏と迫害と艱難(なやみ)に会うを楽しみとせり」(コリント後12・10)。信者にはこんな感謝があるのである。

(信8・60 最善の最後 所感 1917、 続『一日一生』12月30日)